

# 大事協だより

大島地区公立小・中学校  
事務職員協会 研修部  
第42号  
2013年10月31日発行

2学期も残すところ、2ヶ月となりました。今年も台風に泣かされましたが、早い復旧を願いながら、頑張っていきましょう！！

## <各地区からの便り>

今回は、①奄美市東部ブロック②宇検村③和泊町町④奄美市西部ブロックから原稿をいただきました。ありがとうございました。



### ①奄美市名瀬東部地区事務支援室

奄美市立大川中学校・事務主査 中村 律子

こんにちは、名瀬東部地区事務支援室です。

奄美市では昨年度から、県教委が推し進める「学校事務の共同実施」を3支援室・1準備室で始めました。

名瀬東部地区事務支援室（共同実施）は、名瀬中学校、奄美小学校、小湊小学校、大川小・中学校、崎原小・中学校の7校5人の事務職員で構成しています。そして、共同実施協議会の「拠点校」として指定された名瀬中学校の校長が会長となり、事務主幹（名瀬中学校）が室長となり「学校事務の共同実施」を運営しています。支援室の業務は「執務室」（奄美小学校・奄美小学校教頭が共同実施副会長）で行い、8月や毎月1回を除く水曜日の午後（14:00~16:45）で実施しています。しかし、小規模校があるので学校行事優先と決めています。

現在、実施計画書・年間計画表にそって、認定事務、旅費請求の事例研修、自主検査の相互点検（各学校で実施）、市費や就学援助費事務、支援室だより作成（各学期）等を行っています。学校規模、経験年数もさまざまなので、内容はその都度変更をしておこなっています。

昨年度は、市備品監査対象校の備品データをまとめる等の実績も残せました。2年目に入り、ますますの団結力と和やかな雰囲気の名瀬東部地区事務支援室です。今後ともよろしくお願ひします。

### ②宇検村事務職員会

（文責：宇検村立田検小学校 角 拓亮）

宇検村事務職員会は今年度、2名転出2名転入し、昨年度同様3名の事務職員で構成されております。学校数は、単独の小学校が1校、中学校が1校、小中併設校が3校の計8校で、小中併設校2校については事務職員が未配置です。メンバーは新採、再配の職員で構成されており、おそらく県内で一番“若い”事務職員会だと思います。

本村の事務職員研修会は、諸手当認定簿の相互点検業務、他所属の事務職員が検査補助者・立会者になって行う相互自主検査、旅費請求事務の相互審査、村費事務相互点検、新規採用職員のフォロー等を中心に定期的に実施しているところです。

人数が少なく、全員が若年経験者ではありますが、発言しやすい楽しい雰囲気で毎回の事務職員研修会を実施できています。

学校事務の共同実施については、いよいよ本村でも10月1日からスタートします。事務主幹、専門員がいないため準備室でのスタートとなります。その他控除報告に続き給与電算報告もデータ化し、事務手続きのデータベース化・システム化が進みます。事務手続きが支援準備室として事務手続きのシステムの変化に組織的に対応していきたいです。

### ③和泊町事務職員会

和泊町立城ヶ丘中学校 西久保 輝

皆さんこんにちは。和泊町事務職員会です。和泊町事務職員会は小学校4名、中学校2名の計6名で構成されています。今年度はベテラン2名、中堅2名、新採2名と非常にバランスのとれたメンバーで研修を行っています。毎回の研修会は、活発な意見が飛び交いながらも、和気藹藹とした、和やかな雰囲気です。

平成25年度は年7回の町内研修、お隣の知名町との両町研修が年3回、知名町と合同の管外研修視察が計画されています。研修視察は毎年行っており、昨年度は出水市・いちき串木野市・鹿児島市の小中学校で共同実施の現況や学校予算、施設等について学んできました。今年度は、曾於市・日置市・鹿児島市の学校への視察を予定しています。

今年度の本町は「学校事務支援準備室の充実に向けた研修」～共同実施導入による適正な諸手当認定と若年経験者への支援～を研修テーマに掲げています。4月1日から和泊町でも共同実施が始まりました。和泊小学校を拠点校に、支援準備室としてのスタートとなりましたが、今のところ比較的スムーズに業務を執り行っていると感じています。

課題としては、今年度から町単独備品の学校予算の執行方法が大きく変わったことが挙げられます。教育委員会と話を詰めて、より良い方法を模索している最中です。

共同実施が始まり、研修会の開催頻度はやや減少しましたが、これからも和泊町事務職員会6名で協力しながら、楽しく研修をやりたいと思います。



#### ④奄美市名瀬西部地区支援室

「奄美市名瀬西部地区支援室」としてスタートして2年目を迎えました。平均月2回程度、午後から金久中学校事務室で業務を行っています。

経験年数の長い職員が比較的多いことと、学校規模は児童生徒数が700名の大規模校から20名の極小規模校まであり、各学校の職務内容もさまざまな現状であることが特徴です。昨年度末の室長の定年退職により、「支援室」の存続が危惧されましたが、無事「室長」の配置がなされ、今年度の異動では女性職員が増えたこともあり、華やか度が増している気がします。(\*^^)v

本支援室は、中学校3校・小学校6校に加配の事務職員を含め、10名で構成されています。中学校区を上方地区・中央地区・下方地区と3ブロックに分けて認定事務・自主検査・支援室だよりの発行等の業務を行っています

年度始めは80件程の認定事務を行いました。新規採用者や離島独特の事例もあるので、相互研修をすすめながら認定事務を行っています。

また、予算関係では、1万円未満の備品外の物品を支援室で共同入札を行うことで、単価を大幅に下げることができました。有効的な予算執行のため、今後も業務を継続していく予定です。

奄美市の場合、多くの学校で就学援助費事務を事務職員が担当しておりその業務も煩雑であるため、異動してきた事務職員にとっては大変な業務の一つです。

これもひとつの「教育支援」と捉えて今後取り組めるものを考えていく必要があると思います。

本支援室は、県内でも大きな支援室ですが、大規模校から極小規模校までであるので、今後どのようなことを共通の業務として行っていくことができるのかを見極めていかなければなりません。支援室として機能しているかは手探りな状況ですが、本支援室は、気兼ねなく話しの出来る和やかな雰囲気であることが強みです。今後も全員で協力しながら本支援室の共同実施を模索していきたいと思っています。

(文責；朝日小学校 伊集院)



【今春新築落成された金久中学校円形校舎前にて】

#### ～新規採用者の声～

#### 崎原小中学校 重原由美

崎原小中学校に赴任して、早半年。近隣の先生方には、お電話でのアドバイスの他、学校まで足を運んでいただき、感謝の気持ちで一杯です。当初は、パソコンの入力一つ取っても不安でしたが、新任事務研修で知り合った先生方の顔を思い出しながら、何とか年度初めを乗り切ることができました。

支援室では、各種事務手続きを丁寧に指導していただく他、先輩方の様々な経験談や昨年度までの当校の状況をお聞きすることができ、貴重な場を設けていただくことに、常々感謝しています。

学校では、ハブの捕獲研修といった、奄美大島ならではの経験があり、地域の皆様のパワーに圧倒される等、驚きの連続です。小中学校併設ということで、気をつけなければならないことも多々ありますが、確実に一つ一つ積み重ねて、事務職員として成長していきたいと思っています。

#### 期限付事務職員として採用されて

#### 宇検村立名柄小学校 保岡祥子

4月から名柄小中学校に配属されました、保岡祥子と申します。現在、阿室小中学校を兼務しております。4月は、非常勤講師の先生1名を含む計9名の先生方の異動があり、何から手をつけたら良いのか不安でいっぱいでした。そんな時、すぐに近くの事務の先生が学校まで来てくださり、事務手続きや先生方とのコミュニケーションまで丁寧に教えていただきました。また、兼務校まで一緒に足を運んでくださった事は本当に心強くて有難かったです。異動書類や各種認定簿は全て先生が目を通してくださり、その後も月に何回か先生の事務室を訪問し、毎日電話で質問しても根拠を示しながら根気強く指導していただいた事など、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。1学期は、学校という組織に慣れること、仕事を早く覚えなきゃという焦りと、学校や子ども達のために何が出来るのか、自身との葛藤の毎日でした。

宇検村の事務の先輩方は、とても温かくどんな悩みにも相談に乗ってくださり、叱咤激励してくれます。

2学期は、何か一つでも恩返しができる人に成長したいです。今後ともよろしくお願い致します。

#### ○編集後記○

今回は、徳之島町が中心となり、編集・原稿集約して頂きました。ありがとうございました。

次号は、12月発行予定です。編集担当は、瀬戸内町、原稿作成は、①徳之島町②喜界町③与論町④奄美市住用ブロックです。よろしく御願います。

大運動会で

伊津部小全校児童260名で

復帰60周年を祝って作った「60」です。

今年は、多くの学校が作ったのでは  
ないでしょうか？

